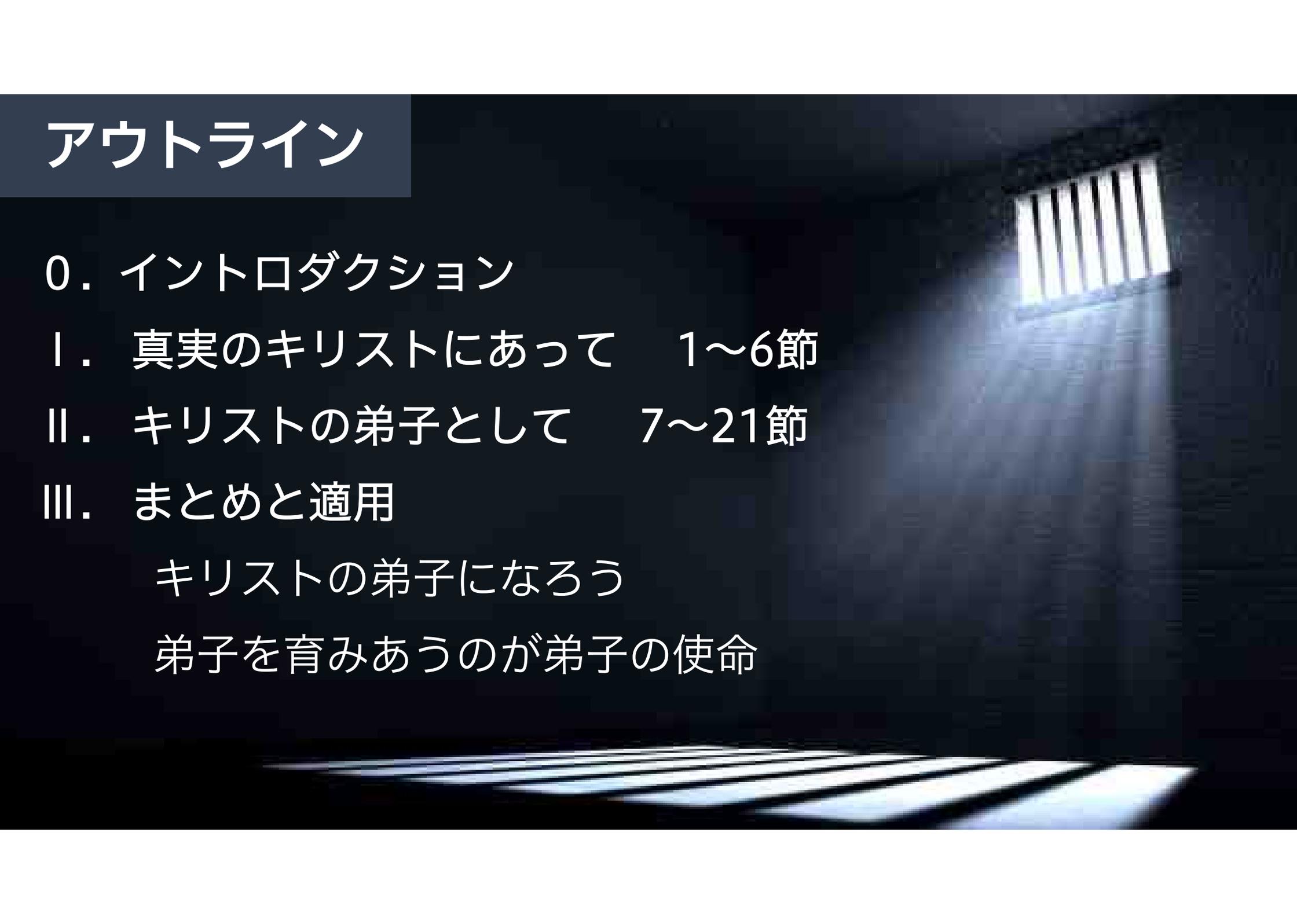


テモテ
第二
②

「キリストの 弟子になろう」

テモテへの手紙第二 2章 キリストの恵み・真実

アウトライン



0. イントロダクション

I. 真実のキリストにあって 1～6節

II. キリストの弟子として 7～21節

III. まとめと適用

キリストの弟子になろう

弟子を育みあうのが弟子の使命

テモテへの手紙第二とは？

■ 著者 …使徒パウロ

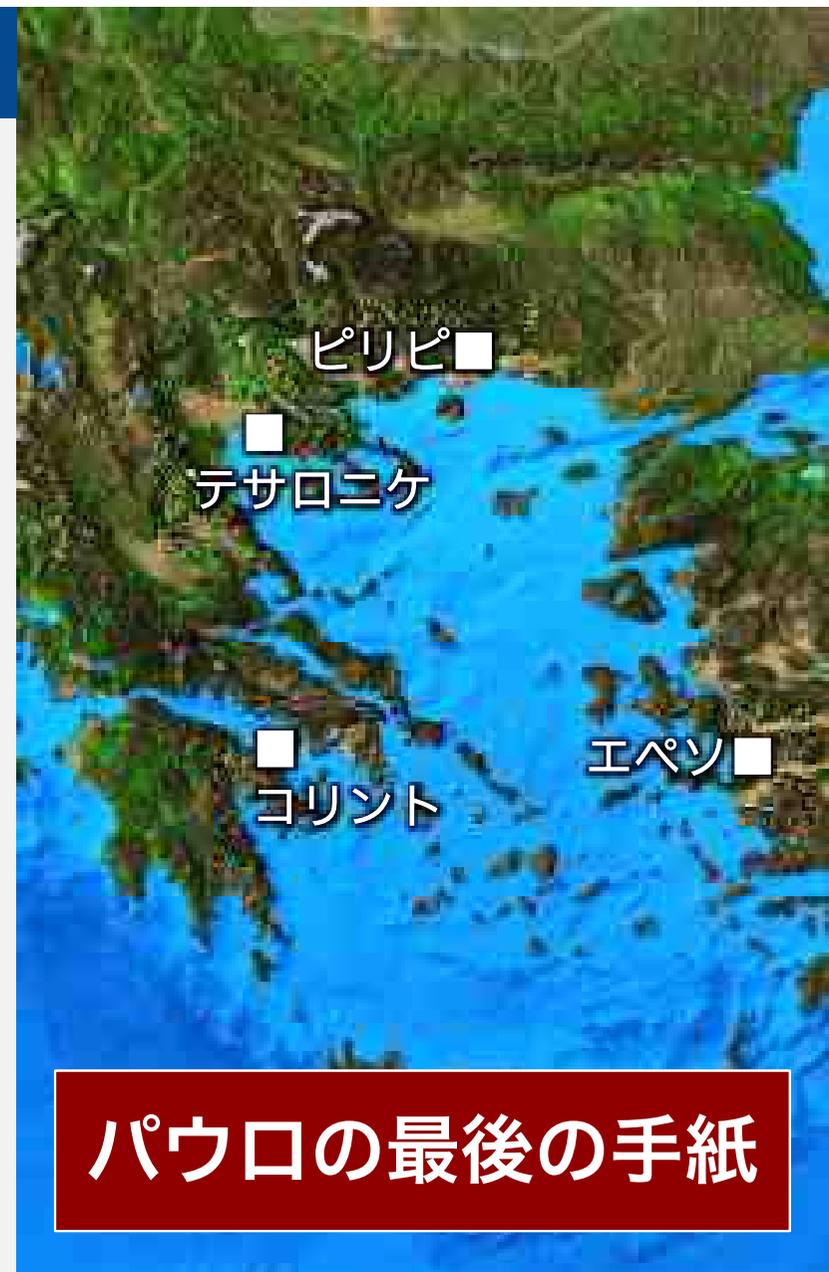
■ 宛先 …エペソ教会を指導中のテモテ

■ 執筆時期・場所 …不明

使徒の働きの文脈に位置づけるなら…

→パウロが、ローマに移送された後？！

■ 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)
牧会上の実践的な助言。励まし。
パウロの別離の手紙。



パウロの最後の手紙



I. 真実のキリストにあつて テモテ第二 2章1～6節

勧め キリストにあって テモテ2:1

ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵み*によって強くなりなさい。

*福音を信じた者は、キリストの内におられ、キリストが内におられる。

- ➔このこと自体が、最大の恵み
- ➔自分自身の存在の根拠がキリストになっているのが、クリスチャン



勧め 信仰の継承 テモテ2:2

多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たち*に委ねなさい。

*キリストの弟子の最大の使命は、次代の弟子を育み、教えを委ねること。

**次代の指導者の育成こそ
パウロがこの手紙を記した
最大の理由・目的**



勧め キリストの兵士として テモテ2:3~4

キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをとともにしてください。

兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとしています。

■ キリストが王であり、クリスチャンは兵士。信仰の戦いに、憂いなく身を投じればいい。日々の必要は、主が満たしてくださる。

→ 求めるのは、主が喜ばれること、だけ!!



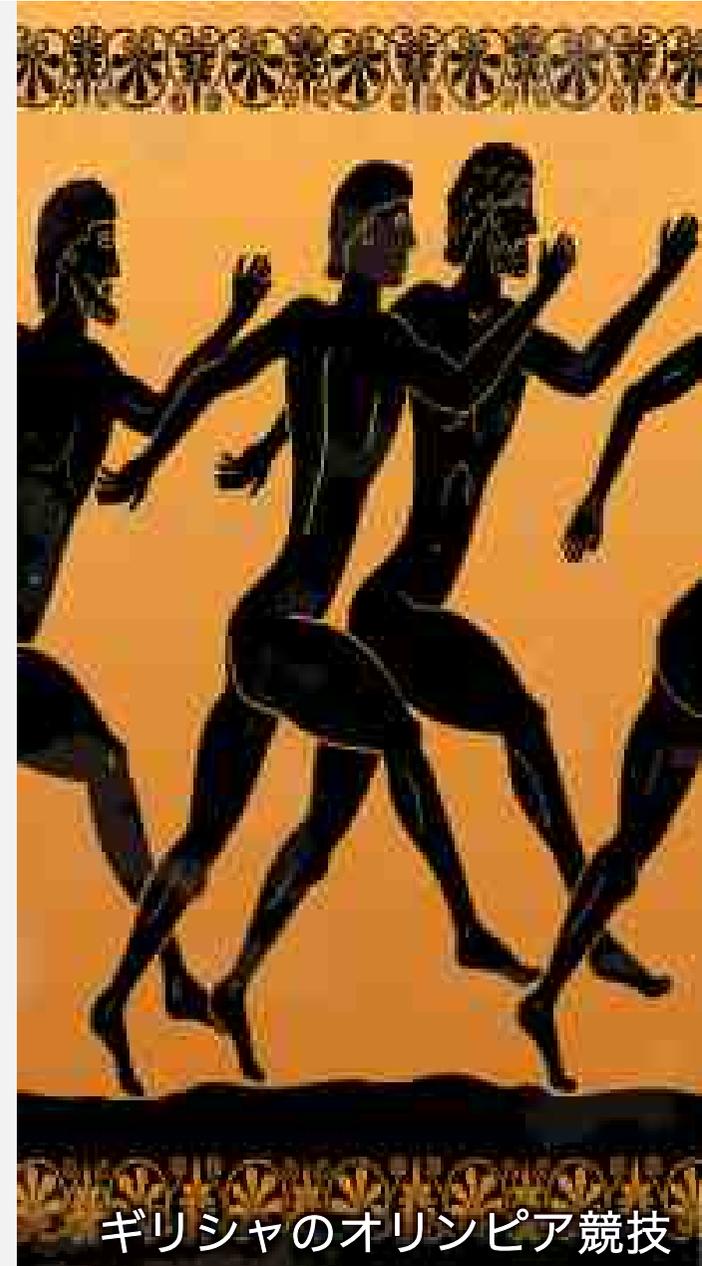
優れた統率で
最強を誇ったローマ兵

勧め 競技者・農夫 テモテ2:5~6

また、競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ栄冠を得ることはできません。

労苦している農夫こそ、最初に収穫の分け前にあずかるべきです。

- 弟子は、競技者のように、キリストに従い、主に訓練され、互いに研鑽されていく。
 - 主に仕える働きには、約束された報酬がある。
 - ・ 脱穀する牛に口籠をはめない(Ⅰコリ9:9)
 - ・ 長老は二倍の報酬にふさわしい(Ⅱテモ9:9)
- ➔究極的な報酬は、神の国で約束!!



ギリシャのオリンピック競技

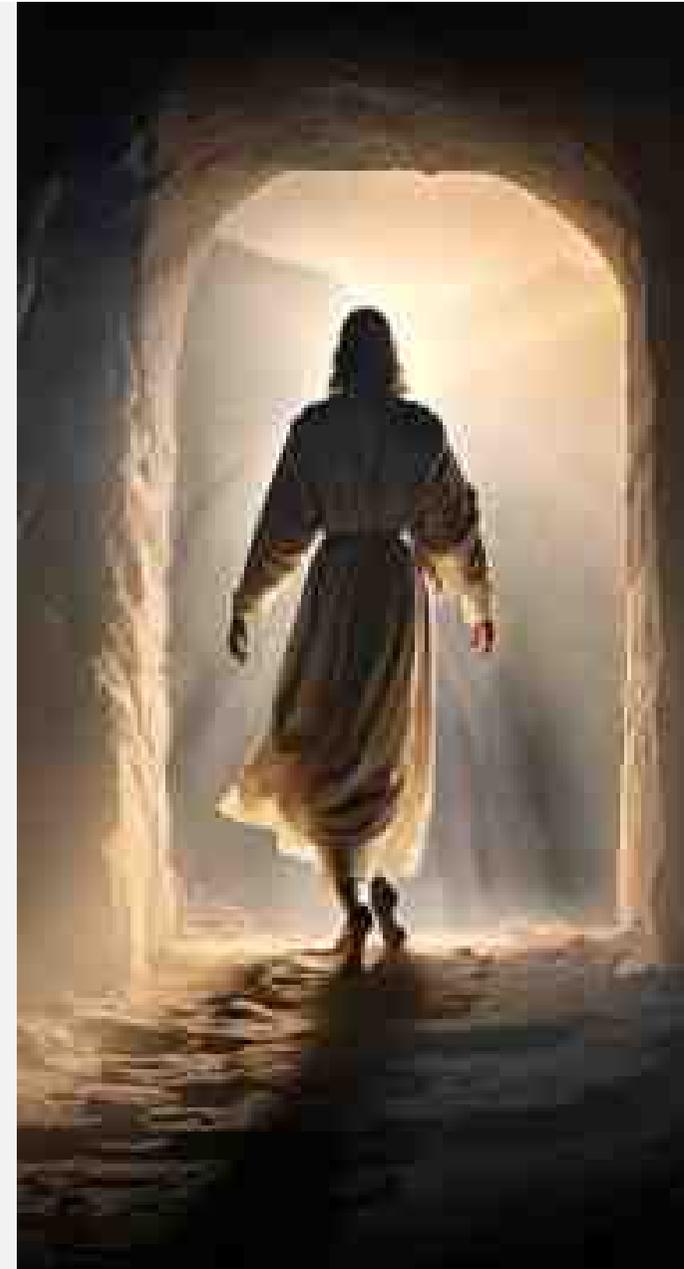
勧め イエス・キリスト テモテ2:7~8

私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、**理解する力***をあなたに与えてくださいます。イエス・キリストのことを心に留めていなさい。私が伝える福音によれば、この方は、**ダビデの子孫***として生まれ、死者の中からよみがえった方です。

*御言葉を理解する力は、主の**聖霊**が与える。

***ダビデ**契約の通り、**ダビデ**の系譜から。

■人として生まれ、人の罪のために死なれ、復活されたキリストこそ、福音(よい知らせ)



勧め 福音のために テモテ2:9~10

この福音のために私は苦しみを受け、犯罪者のようにつながられています*。しかし、神のことはつながれていません。

ですから私はすべてのことを、選ばれた人たち*のために耐え忍びます。彼らもまた、キリスト・イエスにある救いを、永遠の栄光とともに受けるようになるためです。

*獄中にいたパウロ

*救われるべく選ばれた人々。

「救いに予定された人がいる」
この確信が伝道の根拠!!



勧め キリストの真実 テモテ2:11~13

次のことばは真実です。「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。

耐え忍んでいるなら、キリストとともに王となる。キリストを否むなら、キリストもまた、私たちが否まれる。私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。ご自分を否むことができないからである。」

■ ケリュグマ(宣教の言葉)の引用だろう。

キリストを真実と信じる者は、たとえ死んでも生きる!!





Ⅱ. キリストの弟子として

テモテ第二 2章7～26節

命令 無益な論争 テモテ2:14

これらのこと*を人々に思い起こさせなさい。
そして、何の益にもならず、聞いている人々を
滅ぼすことになる、ことばについての論争*など
をしないように、神の御前で厳かに命じなさい。

*キリストの十字架の死と復活の真実

*実質を伴わない言葉だけの論争。

→真理から逸脱した偽りの教理を生じる土壌。



適用のない、知識を得るだけの学びは、無益どころか害になる

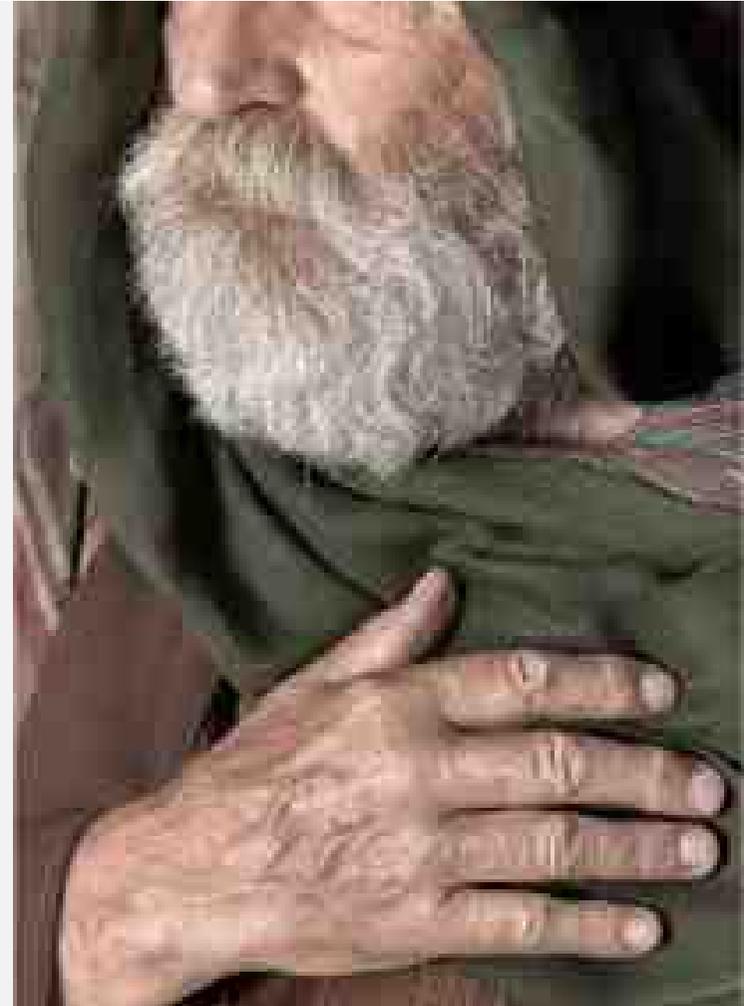
勧告 献身の勧め テモテ2:15

あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない*働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。

*罪を犯したアダムとエバは己の裸を恥じた。

恥じることがない➡罪が解決された状態

■信仰のゆえ、永遠に神の所有とされた身を献げ、み言葉を真っ直ぐ説き明かす。



自分を神に献げるのが
真実の御霊の礼拝

命令 俗悪な無駄話 テモテ2:16

俗悪な無駄話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔になり、その人たちの話は悪性の腫れもののように広がります。彼らの中に、ヒメナイ*とピレトがいます。

彼らは真理から外れてしまい、復活はすでに起こった*と言って、ある人たちの信仰をくつがえしています。

*健全な良心を捨て信仰が破船… | テモ1:20

*肉体を軽視した、内的、霊的な復活か。

グノーシスの影響。キリストの受肉に否定。



言葉だけの人の
言葉遊びに
惑わされない!!

宣告 裁きの土台 テモテ2:19

しかし、神の堅固な土台は据えられていて、そこに次のような銘が刻まれています。「主はご自分に属する者を知っておられる*」また、「主の御名を呼ぶ者はみな、不義を離れよ*」

*民数記16:5 *民数記16:26

■ 荒野での最悪の背信。レビ族のコラの一味が、モーセに反逆。生きたまま陰府に呑まれた。
→ 再臨のメシアは、裁き主として来られ、すべての悪と不信仰者を厳格に裁かれる。

メシアの初臨と
再臨の約束こそ
堅固な土台

地に呑まれたコラ



宣告 尊い器と卑しい器 テモテ2:20~21

大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。ある物は尊いことに、ある物は卑しいこと*に用いられます。

ですから、だれでもこれらのこと*から離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとされ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

*“偽りの教理”のために用いられるのが偽教師

➔主に御心に適う働きこそが、尊いこと!!



勧め 義と信仰と愛と平和 テモテ2:22~23

あなたは若いときの情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。

愚かで無知な議論は、それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。

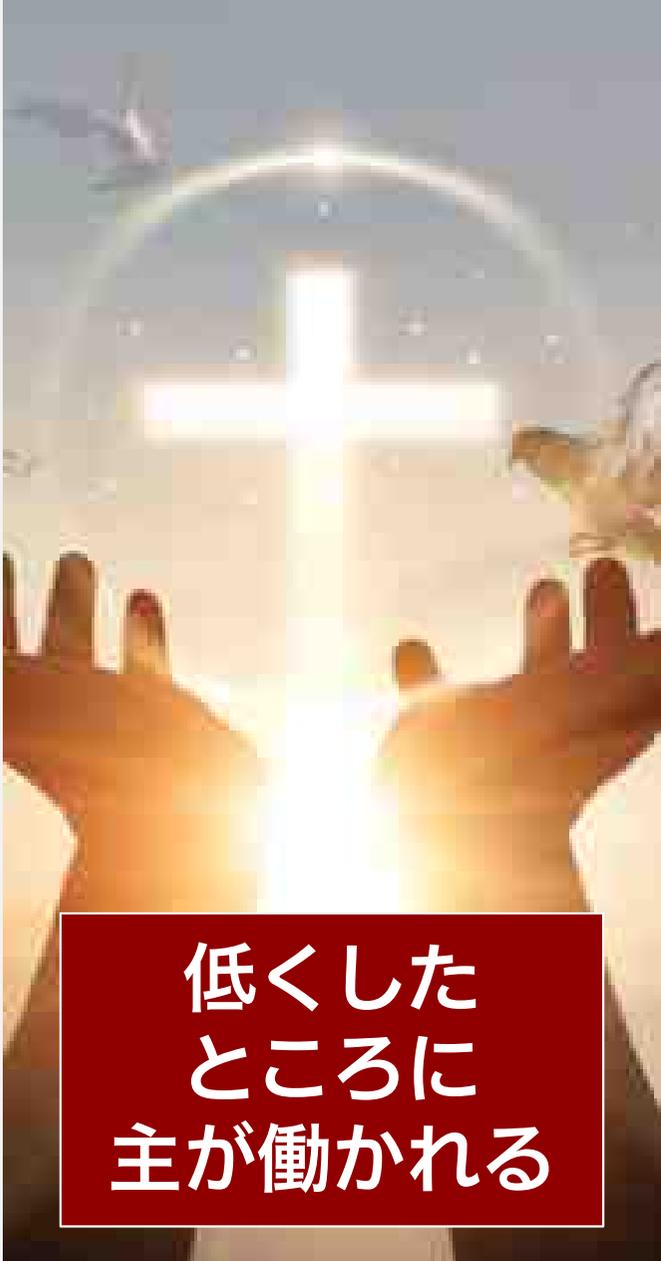
- しかるべき聖化を経て成長しているのが前提。
その上で、率先して追い求めていくべきこと。
→ 神の義と信仰と愛と平和



勧め 柔和に教え導く テモテ2:24~26

主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれません。

- 信仰者の戦いの武器は、聴くこと、柔和であること。何より、主ご自身が働かれるために、自分を低くし、柔和で謙遜であること。



低くした
ところに
主が働かれる



Ⅲ. まとめと適用

キリストの弟子になろう 弟子を育みあおう

大宣教命令に学ぶ、この教会時代の大前提

「ですから、あなたがたは行って、
あらゆる国の人々を**弟子**としなさい。マタイ28:19」

■ クリスチャンの使命は、ただ福音を伝えることではない。
キリストの弟子となり、**弟子**として育まれ、**弟子**を育むこと。

■ 主イエスの公生涯 → 万人に対するものとして始まったが
→ 後半は、**弟子訓練**に集中!!

主イエスの弟子訓練の、さらなる進展が、今の教会時代!!

パウロから テモテへ その次へ

「ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい(2:2)」

■ 次の弟子を育むのが、弟子の使命。

➔ 次代のリーダーを育むのが、リーダーの最大の使命。

■ クリスチャンはすべての人が、誰かに対するリーダー・導き手。

あなたは主の弟子として、誰を育てているか？

育みあう関係性に身を置いているか？

主イエスが示された、あるべきリーダーの姿

- 過越の最後の食事の席で、主イエスは弟子たちの足を洗われた。しもべの仕事を主がなされ、仕えることを弟子たちに促された。
- キリストの弟子であるクリスチャンの使命は、自分に注目し、自分の言うとおりになるロボットを作ることじゃない!!
- ただ主イエスに従う弟子たちは、自由に、自発的に、大胆に、個々の内におられる聖霊の導きによって遣わされて行った!!

キリストと共に生き、希望をもって忍耐する

「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。 耐え忍んでいるなら、キリストとともに王となる」

- 古い私は、福音を信じた瞬間に死に、新生した。それが始まり。
→ 今や、主の願いが私の願い。主の思いが私の思い。
主の弟子として育まれる者は、キリストとともに生きている。
- 育む心に必要なのが、成長の希望をもって、忍耐すること。
忍耐は、誰かを導き育む時にこそ、必須で求められる姿勢。
→ 神の国では、すべての信者が共同統治者として育む立場に!!

主イエスの愛に応答しよう

- すべて的人是は、ただ福音を信じて救われ、クリスチャンとされる。しかし、信じた人が、自動的にキリストの弟子になるわけではない。
 - 弟子を育むキリストの律法は、**愛に基づく自発的な応答**を求める。
 - 面倒な人間関係の中に身を置かなくても、頑張って献げなくとも、自分の課題から目をそらし、好きなメッセージだけ聴いていても、福音を信じていれば、焼け出された姿で、神の国には入れるだろう。
- それで本当に平気なら、聖霊の内住も疑われるだろうけど…。

★ キリストの弟子として遣わされよう ★

- 福音宣教だけが、クリスチャンの使命だというのなら、福音書と福音(1コリ15章)だけあれば、こと足りるだろう。
- 聖霊が降ったのは、**弟子**たちを遣わし、育んでいくため。
使徒たちが記したのは、兄弟姉妹が**弟子**として育みあうため。
主イエスが始められ、御霊が引き継がれた、その先に今がある。
- 「私はクリスチャン。**誰かの導き手**として、世に派遣されている」
主の**弟子**としての自覚をもって、ここから遣わされて行こう!!

主の弟子にパウロが告げたキリストの真実

「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。
耐え忍んでいるなら、キリストとともに王となる。
キリストを否むなら、キリストもまた、私たちを否まれる。
私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。
ご自分を否むことができないからである。」

Ⅱテモテ 2:11~13

キリストの真実に生きる、キリストの弟子として遣わされよう

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、
^{つみ}あがな^{じゅうじか}し

①わたしの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死に、

^{はか}ほうむ

②^{みつかめ}墓に^{ふっかつ}葬られ、

^{しん}

③^{しん}三日目に^{しんせい}復活した^{しゅ}こと、を^{でし}信じます。

^{わたし}私は、^{しんせい}キリストにあって^{しゅ}新生し、^{でし}主イエスの^{でし}弟子とされました。

^{しゅ}主イエスが、^{わたし}私の^{せいちょう}成長を^{にんたい}忍耐して^{みまも}見守っていてくださっています。

^{わたし}この私も、^{しゅ}ただ^{きぼう}主に^{みちび}希望をおいて、^{もの}一人の^{もの}人を^{もの}導く者としてください。

^{しんじつ}キリストの^{しんじつ}真実に生きる、^{でし}キリストの^{つか}弟子として^{つか}遣わしてください。

^{しゅ}主イエス・キリストの^なみ名によって^{いの}祈ります。　^{あーめん}アーメン」